

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 32-005

PDCA	事務事業名	本会議運営事業	部課等名	市議会事務局 議事課 議事担当	担当	尾中	
					内線等	544	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第6章 自立した地域経営のまち					
		節： 第1節 行財政運営とサービスの向上					
		基本施策： 1. 行政運営					
		単位施策：					
	根拠法令等	地方自治法第6章、半田市議会議本条例					
	対象・目的	関係法令や規則等に基づき、本会議が遺漏なく的確に遂行され、かつ会議結果が確実に記録されるようにする。					
	目的を達成するための手段・活動内容	本会議業務（会議録の作成、音響、録音、記録、会議進行他）の実施 傍聴規則に基づく受付業務と適切な接遇 本会議運営に係る議会運営及び会議次第の作成 当局への連絡調整					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		①本会議会議録作成部数		22	22	22	部
		②本会議開催のべ時間		59	57	75	時間
		事業費		1,467	1,199	1,804	千円
		人件費		8,432	8,694	9,875	千円
		総事業費		9,899	9,893	11,679	千円
		活動単位当たりのコスト		30年度	30年度	R2年度	単位
			167,780	173,561	115,720	円	
	成 果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		本会議が滞りなく円滑な議会運営を果すことができた。		実績値			
				目標値			
		実績値					
		目標値					
		実績値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 法定事務	④上位施策への貢献	—	⑦コスト削減余地	ある	
		②市民ニーズ	—	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	B					
		コロナ禍における議会運営がより安全にかつ円滑に行われるように、感染防止策として議場内に飛沫飛散防止パネルの設置、出席職員を必要最小限とする、傍聴席は原則1席分あけて着席するなど対策を行った。また、議場及び各委員会室の音響と映像設備点検を行ったことで確認ができた音響システムを接続するユニットの不具合について議事運営に支障が出ないよう修繕を速やかに行った。（令和2年度の本会議傍聴人数は127人）					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	拡充推進				
			議会運営の効率化のため、タブレット端末導入を視野に入れた議会のICT化について検討し準備を進めていく。また、傍聴者や議会中継の視聴者が増えるような取り組みも検討し開かれた議会を促進していく。今後も職員の研修や、他自治体との情報交換、課題研究に努め、議会が柔軟で活発な議論が行える場となるよう、事務局として支援を行う。				
		令和3年度の目標	成果指標		目標値	単位	
			本会議が円滑に運営されるよう努める。				